

GE 医薬品認知度アップの取り組み ～患者負担金軽減に向けて～

ミキ調剤薬局
○市川真央、鈴木香織、森葉子、池方香里

近年、ジェネリック医薬品の普及が増え、後発医薬品体制加算を取得している薬局が数多くある中で、ミキ調剤薬局の変更割合は20%を下回っているのが現状である。

服薬サポート時などに、お会計が高い、お薬代が負担になっているなどという患者さまの声を耳にすることが多い。

ジェネリック医薬品について知らない患者さまにジェネリック医薬品についてご案内、ご説明し、変更することで、患者様の負担を減らせるのではないかと考えた。

しかし、ジェネリック医薬品の変更を無理に勧めるのではなく、患者様の意思を尊重した上でジェネリック医薬品に変更していくため、患者さまのジェネリック医薬品に対する意識を把握することが必要と考えた。

まず、①処方箋受付時に変更不可のサインがない方にGE説明を行っているが、変更希望しない方に理由を伺った。6日間で計80人。それを分析したところ、興味の無い人が多いことが判明した。

(興味あり22/80 興味なし38/80)

次に、②興味を持ってもらうためにGEに関するリーフレットの配布を行った。

変更不可サインありでGE変更希望される方が多かった。また、以前はGE希望しないと薬歴に記録が残っている方が、説明を聞きたいと申し出てくれることもあった。

以上のことからリーフレットの配布は有効な手段であったといえる。

ただし、受付でリーフレット配布に関して職員への周知が徹底することができず、再度周知させた後にリーフレット配布を行ったことは今後の課題である。

これらの取り組みについて発表会で報告したい。